



# 参画だより

No.54

2014. 11. 30

弘前市民参画センター

PICK UP!

男女共同参画の視点で読む

世界の格言・名言



人生は、私たちが  
人生とは何かを知る前に  
もう半分過ぎている

ウィリアム・

アーネスト・ヘンリー



弘前市民参画センター事業紹介「第1回さんかくセミナー」ほか P 2・3

まなぼ「“男女共同参画”の視点から“あれっ!? “って思ったこと”」 P 4

おとこの気持ち聞いちゃいました「夢一直線」 P 5

さんかくひとりごと「セクシャルハラスメントに思う」 P 5

ひとグループ  
男女・団体紹介「変わってる!?でも、それは個性の集まり」 P 6

利用者・利用団体紹介「弘前縄文の会」ほか P 7

本の紹介「しない生活～煩惱を静める108のお稽古～」 P 8

センターからのお知らせ P 8



## 平成26年度第1回さんかくセミナー

8月3日、市民参画センターで今年度第1回さんかくセミナー「ふつうに自然なもの」読み聞かせにゆだねる時間」を開催しました。

講演の前に、セミナーの企画運営をした、NPO法人男女共同参画研究所副理事長の田中弘子さんが団体の活動内容の紹介をしました。

今回のセミナーは、日本古典文学研究家で芸術遊び「虹色の部屋」主宰の桜川ちはやさんが講師となり、男女・オスメスの役割、自分らしい生きかたについて、絵本などの読み聞かせを通した講演をしました。桜川さんは、東日本大震災後から、岩手県の被災地を中心に読み聞かせのボランティアもしています。

## ◆男女の常識・役割

読み聞かせは、来場者が目を閉じたまま聞いて始まりました。聞いた後、イメージした内容を来場者に問いかけた桜川さんは、「絵本に登場した子どもは？と聞くと、木に登り始めたといえは男の子。花を摘んだということで女の子だ

活動紹介をする男女共同参画研究所の田中弘子さん



物語により読みかたを変え、参加者を惹き付ける講師の桜川ちはやさん

と想像すると思う。そんなふうには私たちは、ずっと今まで生きてきた中で色々なものが刷り込まれ常識ができています」と考え方が経験や環境に影響されていることを述べました。

続いて桜川さんは、除雪に奮闘する主人公を描いた『はたらきもの』のじよせつしやけいていー』を力強く読み聞かせ、「この本の主人公は男の子が好きな働く自動車

でも、『けいていー』は女の子の名前。作者バージニア・リーバーンが書いた働く本の主人公のほとんどは女の子。女性だからと先

入観を持つと読み方が変わるかも知れないが、これは雪と戦う女性の話」と語りました。そして、「リーバーンは30年以上も前にこの本を書いている。気づきになる絵本では」と解説しました。

また、自然界の子育てについて描かれた絵本『氷の国のペンギン』では、オスが卵を温めている間、メスが餌を探し、卵からかえった雛は、子育て前の若いペンギンが保育士として集団で子育てをするしくみができていること。さらにミツバチや熊などの生態も紹介し、オスとメスが厳しい環境を生き抜くため、それぞれの役割を果たしながら自然社会が営まれる様子を語りました。

## ◆自分らしきとは

桜川さんは、なりたい自分と自分らしさが描かれた、対照的な二つの絵本の読み聞かせをしました。

『ラチとライオン』は、弱虫だけれど飛行士になりたい男の子が、突然現れたライオンの力を借りて強くなっていくうちにライオンが居なくても強くなっていた物語。

そして、『花の好きな牛』は、好きな花のにおいを嗅ぎながら平穏に暮らしていたオス牛がある日、

運悪く闘牛に選ばれてしまう。しかし、闘牛場に出たものの、花のにおいに誘われ闘うことができず、元の生活に戻り幸せに暮らすという物語。桜川さんは、「男だから強くなければいけないと育てられる子が多いと思う。でも、『花の好きな牛』は、こうじゃなきゃいけないという常識ではなく、お母さん牛も息子に理解を示す。子どもが見るとこの牛にも共感すると思うし、大人が見るとまた違った見方をすると思う」と述べ、「読み継がれ、長く愛されている本」と紹介しました。

セミナーでは、絵本のほかに桜川さんが万葉集を現代版にアレンジしたオリジナルストーリーも披露され、参加者は、さまざまな物語の中に存在する男女共同参画社会に理解を深めました。



桜川さんの講演に聴き入る参加者

平成26年度  
第1回ひとにやさしい社会推進セミナー



「ボランティア会」  
国際ボランティア会  
鎌倉幸子さん

10月22日、市民参画センターで「第1回ひとにやさしい社会推進セミナー」を開催しました。

今回のセミナーは「思いと思いやりを大切にすること」と題し、弘前出身で、公益社団法人ボランティア国際ボランティア会広報課長兼東日本大震災図書館事業アドバイザーの鎌倉幸子さんが、本でよりそう復興支援について講演しました。

鎌倉さんは高校で進路に悩んだときに、中学時代の青少年赤十字クラブ恩師の「世界の空はひとつにつながっているのに、みんなと同じ歳でも貧困や戦争を経験している。国が違うだけで全然違う」という言葉を思い出し、福祉の勉強がしたいとアメリカの大学に進んだ経緯を話しました。

また、鎌倉さんは、大学院生時代に、現在の活動の原点になったカンボジア留学生の青年との出会

いについて語りました。

「いつも微笑んでいる南国の太陽のような青年が、私に『秘密がある』と打ち明けた内容は、母国の内戦で家族と引き離され、強制労働に駆り出されたという衝撃的な内容だった。何も言葉を返せずにいたとき、『戦争を知らない日本人にこんな話をするんじゃないか』と言われ、無力感にさいなまれた。しかし、マザーテレサの『愛の反対は憎しみではなく無関心』という言葉を知り、現実と向き合う覚悟ができた」と明かしました。

さらに、鎌倉さんは、「カンボジアについて知ろうと思ひ、青年に『できることはないか』と問ひかけた。すると、『難民キャンプの図書館の本を隅々まで読んだ。アメリカに渡り、今の人生があるのは、あの小さな図書館のおかげ』と答えたのを聞き、あつて当たり前

前の図書館が人生を変えるところな事なのか、記憶に残る活動をしている団体はどんな団体なのかと思つた。その運営をしていたのがボランティア国際ボランティア会と知り、ボランティアをするこ

とから始めた」と述べました。

カンボジアでの活動について鎌倉さんは、「人々には、生きるために文字を知ってもらいたいし、内戦しか知らない子どもたちには、読み聞かせにより信頼感や安心感を持つてもらいたい。この世には戦場だけではなくて、友達と手をつなぎ集まれる図書館という場所があることを心の支えにしてほしい」と思いで活動をしてきた」と話し、絵本の配送だけではなく、紙芝居や読み聞かせなど教育支援を通し、500の小学校に図書室を作った約9年間の赴任生活を語りました。

帰国後、東日本大震災が発生。

震災の翌月現地入りした鎌倉さんは、震災後間もない3月末から図書館を再開した気仙沼市図書館を訪問したときのことを振り返り、



カンボジアでの紙芝居の様子  
たくさん子どもたちが集まると話す  
鎌倉さん

「出会った職員が言った『食べ物がありがたいが、食べたらなくなる。でも、本は記憶に残る。こんなときだからこそ、今出会う本が子どもたちの一生の支えになると信じている』という言葉。そして、カンボジアの小学生がつぶやいた『お菓子は食べたらなくなるけど、絵本はなくなるから好き』という言葉と重なり、がれきを見たときは、今は本ではないのではと思つたが、3週間たった今だから本なのだと思つた」と移動図書館立ち上げの力となったことを話しました。

震災後、岩手の大人たちが気にかけていた、子どもたちを非日常から、日常へ。物をもらつて当たり前ではなく、借りたら返すといううような公共性を養うのは図書館だという思いをつなぎ、同年7月移動図書館は運行を開始しました。

「移動図書館はひとりで訪れる人、わいわい集まり話をする人、その日の気分楽しんでほしいという思いを込めている」と話し、岩手・宮城・福島の45か所を巡回している様子を紹介しました。

出席者は、本から得られる力を改めて感じながら、鎌倉さんの話に聞き入っていました。



# まなぼ



「男女共同参画」の視点から

このページは男女共同参画についての学びを深めようということから企画されているページです。

男女共同参画の視点は兼ね備えているはずの「参画だより」編集員ではあるが、自分ながら「これって違うかも〜」とか、「思わず苦笑い!」ということはなかったらどうかと疑問を投げかけてみた。

## 「あれっ!?!」って思ったこと…



- ◆ 先日の休日、娘のところへ立ち寄った。娘は連日の残業でまだ眠っていた。婿殿が孫の世話をして昼食まで作ってくれた。すごく肩身が狭く、申し訳なかった。これが息子と嫁なら気にもしなかっただろう。帰り道、そんな思いをはせた自分に「なんか変だな?」と思った。
- ◆ 週末の朝、子ども向けのアニメを見ていたとき、主人公が女の子なのか男の子なのか一瞬わからず、あれっ?と思った。長い髪を一つに結び、肩を出した洋服を着ていたからである。主人公が男の子だと分かった瞬間、自分自身の固定観念にはっとした。と同時に最近のアニメや漫画は、職業や役割の描写に性別が影響することが少なくなっているの、男女共同参画の視点を身につけるには良いツールだと実感した。
- ◆ 小さい頃から「女の子だからご飯のときは正座を」とよく言われていた。「男があぐらをかいても何にも言われぬのはずい」などと思い、「女の子だから」という言葉が気に入らず、正座をしなかった。今でも正座が苦手である。正座でスマートに食事をしている男性に出会って恥ずかしくなったことがある。「女の子だから正座」と言われなければ正座をできたかもしれないと、母のせいにながら私は今日もあぐらをかいている。
- ◆ 家事や育児の負担が多すぎると嘆いている女性が多い。私もそのひとりだが、男性だけを責めるのはどうかなあと思うときがある。多くの夫は妻を気遣い、自分ができる範囲で協力を試みるはず。ただ、不慣れなせいで、お粗末な結果になることが多く、歓迎されないとすれば、せつかくの意欲も薄れる。男性が家事や育児から遠ざかる理由は女性の態度にもあるのかも。ハードルを下げ、慣れる環境と時間を提供するの、ひとつの解決策なのではないだろうか。
- ◆ 「男女共同参画」という言葉は知っているが、よくわからない・説明できないと答える人が多い。しかし、ご年配の方をはじめ、「男女共同参画」を学習しているという世代の若者たちも、男女平等についてのとらえかたが柔軟になって、「男だから」「女だから」と格差をつけることがなくなっているようだ。意識改革は確かに進んでいるようではあるが、先進各国に比較するとまだまだの部分も…。
- ◆ ある飲み会での話である。若い男子たちが異常な盛り上がりをしていた会話の内容は、「水周りが汚いのは許せない」「それならピカピカになるスポンジがあるよ!」というもの。まだ未婚の彼らが結婚したら普通に家事をするのだろうか…、と思いながらも、若干引いてしまった自分がいた。



今後も機会を見つけては「男女共同参画」について考えていきたいと思います。いろいろな考え方があって奥が深い問題です。皆さんにもこのような経験はありませんか? 「まなぼ」に皆さんの意見もお待ちしております。

Q. 男女共同参画って知っていますか？

A. 知っています。学校で習いました。

Q. 岩手出身ですが弘前に来た理由は？

A. 高校卒業後、自分で何をしたいのか考えて、救急医療に携わり、現場での仕事がしたいなど。それで救急救命士になりたいと思いました。その学校が弘前にできることを知り決めました。

Q. 学校のクラスに女性はいいますか？

A. クラス35人中6人が女性です。この仕事は女性を必要とする仕事が多くあるので、もっと人数はいてもいいと思います。

Q. 学校では何を学んでいるのですか？

A. まだ半年なので、解剖生理学・気管挿管・救助手法・包帯技術・各疾患の勉強や、みなさんがよく知っている災害時のトリアージも学んでいます。

Q. 実家を出ての生活の違いはどうですか？

A. 自炊なので、調理して後始末の時間が思ったよりかかることを知った。得意料理は野菜炒め、カレーかな(笑)。

Q. 卒業後はどうしますか？

A. 地元にはこだわらず、今の勉強を活かして就職をしたいと思っています。

おとこの気持ち  
聞いてください  
た



10代・学生・独身

インタビューを終えて

### ～夢一直線～

見た目、かわいくて、おとなしい子だが、予想に反して積極的。目標がしっかりしていて、自分のことを知っている。弘前に来たのも救急救命士になるとの思いで、全国の中からこの学校が良いと考え、何のつてのない所へ情熱だけで来たとのこと。若さですごいと思った。  
梅



### ～セクシャルハラスメントに思う～



女性議員へのセクハラヤジが大きく話題になったのが記憶に新しい。以前女性を「産む機械」と発言した政治家もいたなあ…。最近セクハラを特集したTVの放送を見る機会があった。番組ではセクハラ被害は職場だけではなく、地域や家庭でも多く発生しており、40代からの被害が増えていると報道されていた。

家庭で？と思い見ていたら、夫に親族の前で子どもへの授乳を強要されたとか、実家へ帰ると叔父がやって来て授乳のときもそばを離れないなど。しかし、この件に関しては同じ女性の立場から、「母としての役割を果たしているのだから平気」という意見もあり、個人の考え方や関係性の違いで、変化していくセクハラ基準のあいまいさが話題になっていた。

40代からのセクハラでは「体に触られる」「性的冗談を言われる」などが多く、その背後には「年を重ねた人はセクハラしても騒がないだろう」という加害者の心理があるらしいとのこと。また、それを同性の上司や先輩に相談すると、「大人の対応をして」とか、「自意識過剰なんじゃないの？」という言葉をかけられたとか。女の敵は女？身近な場所でのセクハラにどう対処する？など考えさせられた時間だった。

セクハラ～難しい問題である。誰が見てもセクハラと分かるものから、セクハラをしている当事者がセクハラと意識していないものまで。特に中高年になると、我慢を強いられることが多いような気がする。セクハラという言葉は定着してきているようだが、声をあげる被害者はまだまだ少ないようである。



さんかくひとりごと

# 「いばだだ会」 （座禅会） く変わってる？でも、それは個性の集まり

★「いばだだ」とは

「いばだだ」という、広辞苑にも載っていない変わった名称の会です。「いばだだ」とは、津軽弁で『変な』とか『変わったこと』を意味する。津軽の人でも今ではあまり使わない言葉です。いろいろな職種の人が集まっている会です。ので変わった会なのでしょう。

いばだだ



座禅会の様子

★こんな会です

平成13年、禅林街の宝積院内にて、弘前工業高等学校木材工芸科昭和39年卒業生の仲間で開催している「緑鵬会」という会が、「弘工高入学40周年記念作品展」を開催しました。作品展は、弘工高美術OB会・弘工高PTA安田会2団体の協力により行われ、そのときに、作品展の名称を仲間募ったところ、『いばだだ展が一番面白い』との意見があり決定されました。

「いばだだ展」の出品者は、プロとして物作りをしている人や、私のように会社経営の傍ら、風絵を制作しているなど、ふだんは他の仕事を主にしている人、主婦をされている人もいます。県内外から集まり、作品（絵画・写真・木工・畳工芸・彫刻・板金・陶芸・こぎん刺し・漫画など）を展示しました。

それから数年後、女優・吉永小百合さんが座禅をしているJRのテレビ放映や、大きなポスター



親睦を深める大般若会

の影響により座禅ブームが起きました。すると、安田会の女性たちが吉永小百合さんに憧れて、『ぜひ体験してみたい』ということになり、宝積院の太田宏見住職にお願いをして、第1回目を3団体20名程度で行いました。

毎回座禅会の終了後、大般若会と称して反省会を行っていましたが、会に名称を、との意見があり、『いばだだ人間の集まり』なので、「いばだだ会（座禅会）」

会長 三上義夫さん

としたのが会の始まりです。会員同士座禅をすることで無になり、気持ちが洗われる集いの場になっています。

ふだんの活動とはいっても他の会とは違って、対外的に活動しているわけはありませんが、平成22年に「いばだだ会」と命名してから年に1〜2回の座禅会と大般若会。隔年で開催してきました弘工高美術OB展や安田会会員田中功氏の個展では準備・受付案内・後片付けなどの手伝い。また、元弘工高校長であった川村眞一氏の瑞宝小綬章授賞祝賀会の主催をしました。

★会のこれから

今まで同様に座禅会はもちろん、会や個人の作品展を手伝い、前回「いばだだ展」を開催してから10年過ぎましたので、再度挑戦してみたいと思っています。現在会員25名ですが、30名位に増やしたいと思っています。



## 大森勝山遺跡



(環状列石全景)



(空から見た環状列石)



(巨大竪穴住居跡)

青森市三内丸山遺跡や森田の石神遺跡、弘前市十腰内遺跡や大森勝山遺跡、木造の亀ヶ岡遺跡や八戸市の是川遺跡など。このたび縄文時代に野山を駆け巡ったであろう古代人たちに思いを馳せ、ロマンに浸ること

青森市三内丸山遺跡や森田の石神遺跡、弘前市十腰内遺跡や大森勝山遺跡、木造の亀ヶ岡遺跡や八戸市の是川遺跡など。このたび縄文時代に野山を駆け巡ったであろう古代人たちに思いを馳せ、ロマンに浸ること

弘前縄文の会会長  
今井二三夫  
(電話・FAX 32・9272)

## 産声 高らかに

世界最古の土器は、日本で発見されているのをご存知でしたか？それも青森県出土ということも。この土器は、新幹線「奥津軽いまべつ駅」へ行く途中の「大平山元遺跡」から出土した、今から一万六千年前のものです。なんとなんとこの大平山元遺跡と同じ頃の遺跡が実は弘前にもあるのです。岩木山麓の「大森勝山遺跡」。

世界最大直径14メートルの巨大竪穴住居址、青森県初の旧石器、更にそれまでの常識を覆した環状列石(ストーンサークル)の発見と、日本中を驚かせた遺跡なのです。

いま北海道と北東北の3県は、縄文遺跡群の世界遺産登録を目指していますが、大平山元遺跡や大森勝山遺跡は、その中でも重要な遺跡とされています。

## センター利用者に突撃インタビュー

60代・男性



### ◆センターの利用目的と利用頻度は？

退職と同時に始めたボランティア活動で、講師として、また自分の研修の場として、機会があるごとに利用しています。

### ◆センターを利用してみた感想は？

2Fフリースペースは“老若男女”気軽に利用できるのも、貴重な場所です。また、職員がいつも笑顔で対応してくれるので、安心です。せっかくよい場所でも対応が無愛想だと使う気持ちにならないものです(笑)。3Fの活動室も使いやすい広さです。

### ◆センターに要望はありますか？

ボランティア支援センターがこちらに移るまで、参画センターを知りませんでした。もっと、PRしてもよいのではないかと思います。「参画だより」を公共施設だけの配布にとどめないで、広報などに載せてもらってはどうか。

### ◆「男女共同参画」についてどう思いますか？

言葉としてはずいぶん浸透してきているように思いますが、私のような団塊世代では、男性は外で働き、女性は家庭を守るといった考えが根づいています。男性は妻に対して、見えない縛りをしている人も多く、現実には格差があるように思います。

### ◆「今一番」の楽しみは何ですか？

ボランティアの他は男声合唱団で歌うこと。新年早々、大阪で全国大会があります。ドイツ語の歌もあり、覚えるのは大変ですが、大きな大会で歌うことを楽しみに日々練習に励んでいます。



笑顔でたくさんお話しをしてくれました。身乗り出して聞き込んでしまうぐらい、話し方がとっても上手な方という印象を受けました。

by のん

# 平成25年度利用状況報告

## ☆弘前市民参画センター

利用場所	利用者数	
	25年度	24年度
グループ活動室（有料）	14,084	14,268
ふれあいホール等（無料）	10,349	10,861
利用者数計（小計）	24,433	25,129
見学者	9	6
合計	24,442	25,135

☆センター利用者数

利用目的	公共団体		一般団体		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議	2	27	293	3,467	295	3,494
講習会・研修会・勉強会・講座	7	222	747	9,576	754	9,798
講演会・フォーラム	0	0	3	90	3	90
その他	8	201	30	501	38	702
合計	17	450	1,073	13,634	1,090	14,084

☆活動室利用目的別件数・人数

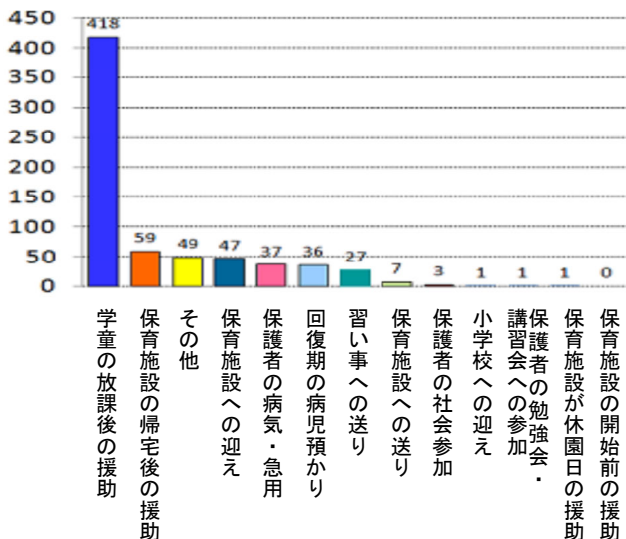
## ☆さんかくネット（子育てサポートシステム）

利用件数	25年度		24年度	
	依頼件数	預かり人数	依頼件数	預かり人数
個人	569	675	413	550
団体	56	189	51	146
計	625	864	464	696

☆さんかくネット利用件数・人数

☆さんかくネット利用内容別件数（個人）

※複数依頼含む



### ◎休館日のお知らせ◎

弘前市民参画センターは、12月28日（日）～1月3日（土）まで休館します。

### 編集後記

めぐる、めぐる季節のなかで～という歌詞をふと思い出しました。私は何か見つけることができたのだろうか。時間が過ぎるのが早すぎて。いろんな締切に追われるうちに、寒い季節がきてしまいました。雪道の運転は苦手です。皆さんゆっくり走りましょう。

by sho

## 本の紹介

### タイトル

「しない生活  
～煩惱を静める  
108のお稽古～」

小池 龍之介 著  
幻 冬 舎 刊



～静かにそっと立ち止まる～

人は目の前の現実勝手に「妄想」をつくわえ、自分で自分を苦しめる。この妄想こそが仏道の説く「煩惱」であるという。煩惱にさいなまれるときに役立つのは、立ち止まって自分の内面を丁寧に見つめること。私たちは困ったときほど立ち止まらずに、どんどん次の手を打とうとしがちで、さらにせきたてられて混乱していく。けれども、困ったときこそ静かに立ち止まり、辛さから逃れようとして何か「する」のではなく、ただただ内省により心を静める「しない生活」をお稽古しましょうと語りかける。

この本は、住職としての仕事と自身の修業のかたわら、一般向けの座禅指導も行っている著者が、新聞紙上で「心を保つお稽古」と題して、毎週2年半にわたって連載された中から選び編集されたものである。

第1章の「つながりすぎない」から第5章の「比べない」まで108項目について書かれている。見開きで20行程度の文章の中には、著者自身の体験や身近な問題が取り上げられていることから、自分自身の体験とも重なるところが多く、読み進むうちに自分を見つめること、自分を理解することの大切さが身にしみてくる。私のことは私が一番わかっていると思うふしがあるが、ところがそうではないような…。

特に興味深かったのは、第3章「言い訳しない」である。それぞれの読み方によってそれぞれの受け取り方があるだろう。あまり馴染みのないブツ（釈迦）のことばにも触れ、「しない生活」のお稽古をするのはいかがでしょう？

by komori



## 弘前市民参画センター

〒036-8355 弘前市大字元寺町1番地13

TEL 0172-31-2500

FAX 0172-36-1822

開館時間 9:00～22:00

休館日 12月28日～1月3日

[http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gaiyo/shisetsu/kyouiku/htm\\_sankaku/framepage.htm](http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gaiyo/shisetsu/kyouiku/htm_sankaku/framepage.htm)

